

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2017.12

国立国会図書館
月報



米国に残された戦前の検閲の痕跡
本に残された決裁文書 ——注文の多い間借人——
世界図書館紀行 イラン・イスラム共和国

国立 国会 図書館 月報

NO. 680
DECEMBER 2017

CONTENTS

- 1 Farewell, Old Fellow!
——ビゴースとワーグマン
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 4 米国に残された
戦前の検閲の痕跡
——LC所蔵 内務省検閲発禁図書
本に残された決裁文書
——注文の多い間借人——
- 6 本に残された決裁文書
——注文の多い間借人——
- 14 世界図書館紀行
イラン・イスラム共和国
- 24 What's 書誌調整ふたたび 第10回
メタデータって何だろう？
- 13 本屋にない本
『Yanagimoto Koichi -archivist's vision』
- 23 館内スコープ
このツイートの、きみまでとどけ
- 26 NDL Topics
- 28 年間索引



表紙：
中川八郎 [画] 「青嶋の月夜」
『新日本見物 台湾・樺太・朝鮮・満洲・青島之巻』より
金尾文淵堂 編・刊
大正7年 456p 22cm
<請求記号 369-16い>

Farewell, Old Fellow!

—— ビゴとワグマン

村尾 優子



図1 Tôbaé 5号 (1887年4月15日)

表題の下に、UN NUMÉRO 0. Y. 80 SEN. (1号80銭)、JOURNAL SATIRIQUE (風刺雑誌)、ABONNEMENT 3 mois 4Y.50. (3ヶ月購読4円50銭)。JOURNAL SATIRIQUEの下にはDeux Numéros par MOIS. (毎月2号発行)。ピエロの下には、ON S'ABONNE Au Club Hôtel No.5 Yokohamaとあり、居留地内の横浜5番クラブホテルで購読できたことがわかる。

Tôbaé : journal satirique.

<請求記号 Z76-A797> ※関西館で一部の巻号を所蔵しています。

ビゴ (Georges Bigot, 1860-1927) は、ジャポニスムの影響を受けて、明治15(1882)年、21歳の時に来日したフランスの画家です。明治32(1899)年に帰国するまで、多数の雑誌や画集を刊行したほか、報道画家としても活躍し、当時の日本の世相をとらえた絵を多く描いています。

ビゴが刊行したTôbaé (『トバエ』(第二次)¹)には、明治20年当時の朝鮮半島をめぐる情勢を、3人の人物と魚にたとえて描いた「漁夫の利」と呼ばれる絵をはじめ、鏡の前の洋装の男女を描いて鹿鳴館時代の極端な欧化政策を批判した「猿まね」と呼ばれる絵や、ノルマントン号事件を風刺した絵²があり、日本史の教科書などに定番のように掲載されているので、ご存知の方も多でしょう。

図1は、『トバエ』の表紙です。JOURNAL SATIRIQUE (風刺雑誌)とあるように、風刺の効いた絵がよく知られていますが、いきいきと描かれた絵には、風刺にとどまらない

魅力があります。居留地を飛び出して、人々と自由に交流しながら好奇心旺盛に動き回っていたビゴは、ワグマン (Charles Wirginat, 1832-1891) の目にも飛び込んだでしょう。The Japan Punch (『ジャパン・パンチ』) 1882年7月号に、来日して半年のビゴの姿がとらえられています (図4)。

ワグマンは、文久元(1861)年、イギリス公使オールコックとともに来日した、イギリスの画家であり、新聞記者です。洋画家の高橋由一や五姓田義松が弟子入りしていたことでも知られています。『ジャパン・パンチ』は、ワグマンがイギリスのThe Punchにならって文久2(1862)年に創刊した風刺雑誌で、日本で最初の漫画雑誌でもあります。

『トバエ』は、この『ジャパン・パンチ』の影響を受けて刊行されたといわれています。一方、ビゴの版画集『あゝ』『おはよ』『また』に刺激を受けたワグマンが『Sketch Book of Japan (『日本スケッチ帖』)』を刊行したのではないかと



図2 Tobaé 5号 (1887年4月15日)

船には、JAPAN PUNCHと書かれた箱が見える。侍、星模様の袴、耳に掛けているように見えるペン、箱上の犬、鶴のような鳥など、*The Japan Punch*の表紙絵が踏まえられている。ピエロが左手で侍の右手をとっているのは、握手とすると違和感があるが、ピゴーが左利きであったことが関係している可能性も考えられる。



図4 *The Japan Punch* 1882年7月号

上部にはフランス語で「パリ祭 名高い絵描きベラスケス・ジゴが勲章のためにお得意の豚を描いている図。メニューを参照。」とある。ピゴーが左手でペンを持っていて、左利きであることもわかる。

Tobaé表紙(図1)のピエロもパレットを持つのは右手。

フランス帰国後のピゴーの絵に「Shidari Kiki」というサインのものがあることが知られている⁹⁾が、「ひ」と「し」の音を混同するという江戸っ子が、絵を描くピゴーを見て左利きであることを指摘する場面があったのかもしれない。

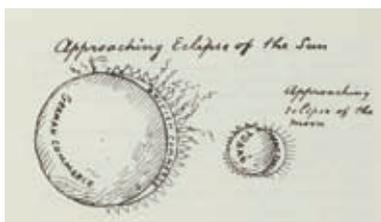


図5 Approaching Eclipse of the Sun (間近に迫る日食)

左はドイツ貿易に隠れそうな英国貿易を日食にたとえている。右は Approaching Eclipse of the moon とあり、Tobaéに隠れる *The Japan Punch* を月食にたとえている。

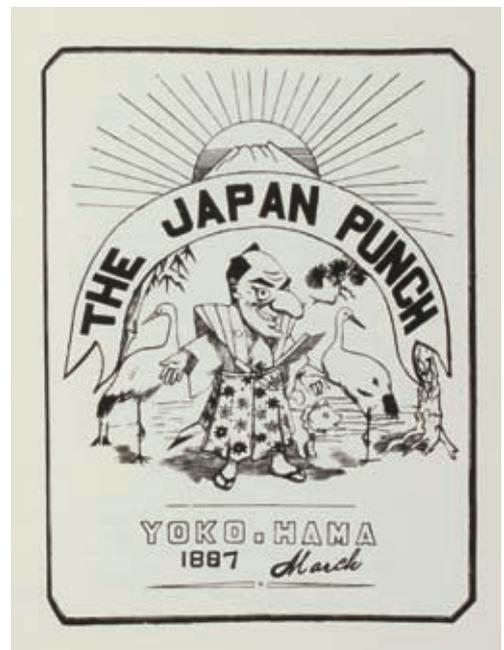


図3 *The Japan Punch* 1887年3月号(終刊号)表紙
終刊号には、図5が掲載されているほか、最終ページにはピゴーやTobaé、ピゴーの風刺絵本 *Parodie des Tableaux Vivants* (『活人画による風刺詩』) を賞賛する言及もある。

図3～図5はリプリント版 *Japan punch*. Yushodo, 1975. (関西館所蔵) <請求記号 Z51-D505>より。東京本館でもオンデマンド版<請求記号 Z79-B411>を所蔵しています。

Tôbaé より



Tôbaé 3号 (1887年3月15日)

東京にあった西洋料理店「小吾妻」を描いた絵。当時の店内の様子やメニューを知ることができる興味深い一枚。画面右下のテーブルには、Bata (バター)、Ômeletsou (オムレツ)、Bistéki (ビステキ)、Fraé (フライ) などと書かれている。



Tôbaé 11号 (1887年7月15日)

政府に対する風刺を行っていたビゴーは、官憲にマークされることもあった。ビゴーは明治32(1899)年、フランスに帰国。治外法権が廃止される直前の離日で、日本での自由な活動が今後は難しくなると考えてのことであつたと思われる。

この時、ビゴーは27歳、ワグマンは54歳。深刺として覇気もある様子のピエロと少しくたびれた感じの侍の対比から、あるいは、ビゴーの自負や若さゆえの不遜さを感じる向きもあるかもしれません。しかし、図の下方には英語で“Fairwell, old fellow”¹⁾とあり、国籍は異なる二人ですが、日本でもともに風刺雑誌を刊行した仲間でもあり、大先輩でもあるワグマンに対するビゴーの敬愛の念が感じられます。ワグマンの胸中は不明ですが、『ジャパン・パンチ』の表紙絵より柔和に描かれた侍の表情が、ワグマンの心情を映しているならばよいな、とも思われます。二人の交流に思いを馳せることのできる貴重な一枚です。

- 1 第一次トバエは明治17(1884)年12月に1号のみ刊行して終了。第二次は明治20年2月15日に創刊し、明治22年12月の69号まで、約3年間、刊行が続いた。
- 2 釣りをしている2人の人物が日本と清。魚は朝鮮。それらを橋の上から見ているのがロシア。第二次創刊号(1887年2月15日)掲載。
- 3 6号(1887年5月1日)掲載。
- 4 1887年5月17日のフランス郵船モンザレー号の遭難事件をイギリス船ノルマントン号遭難事件(1886年10月24日)風に描いて、イギリスの横暴を風刺したという。9号(1887年6月15日)掲載。原本の第二次創刊号、6号、9号は国立国会図書館では所蔵していないが、各図が掲載された資料は『ビゴー『トバエ』全素描集』<請求記号KC16-L2340>など、多数所蔵している。
- 5 『フランスの浮世絵師ビゴー』<請求記号KC314-G37>
- 6 『ワグマン素描コレクション.上』<請求記号KC16-H19> 図3-5の訳も本書による。
- 7 『ワグマンが見た海』<請求記号KC16-J1947>

米国に残された戦前の検閲の痕跡 ——LC所蔵内務省検閲発禁図書



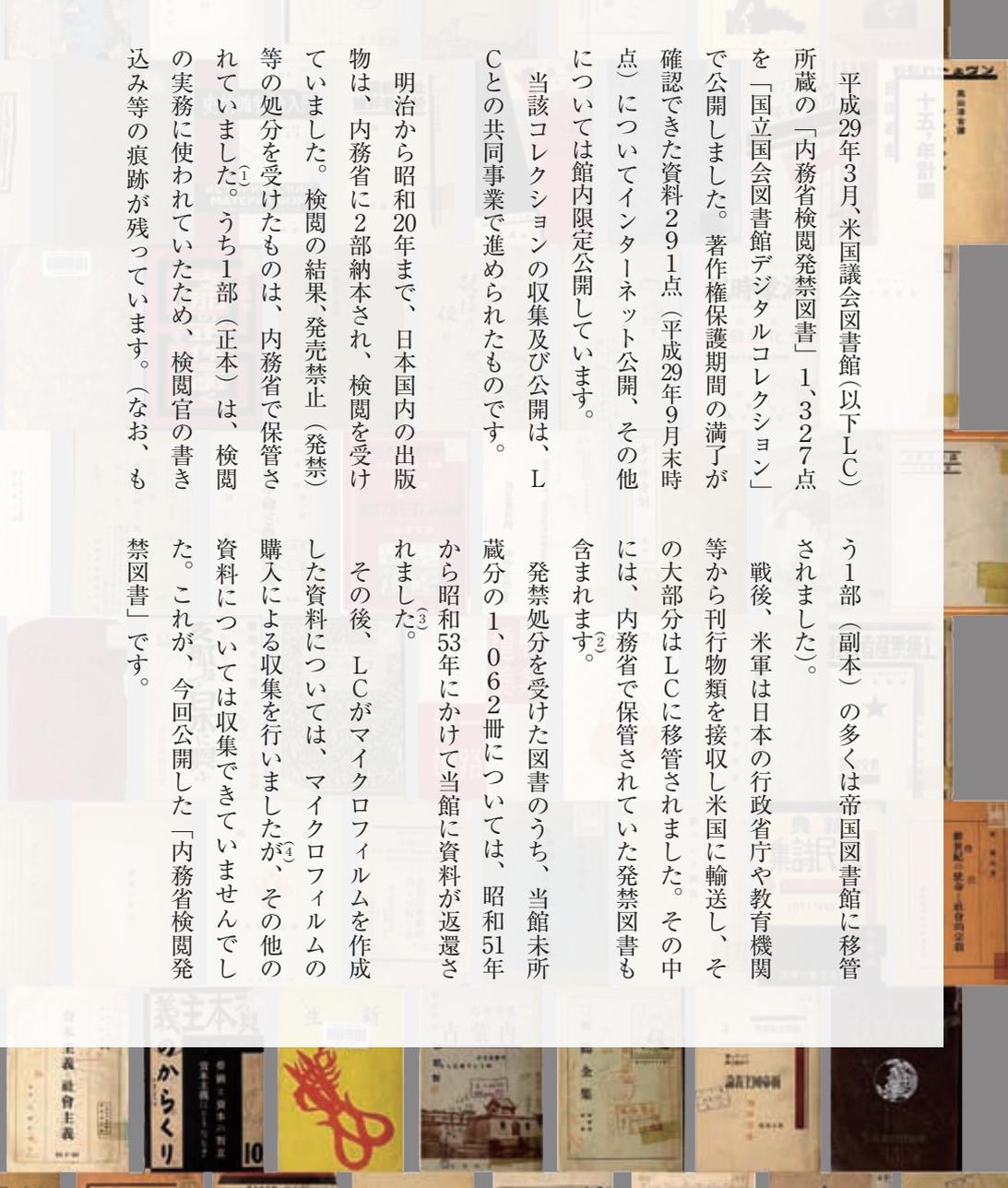
平成29年3月、米国議会図書館（以下LC）所蔵の「内務省検閲発禁図書」1,327点を「国立国会図書館デジタルコレクション」で公開しました。著作権保護期間の満了が確認できた資料291点（平成29年9月末時点）についてインターネット公開、その他については館内限定公開しています。

当該コレクションの収集及び公開は、LCとの共同事業で進められたものです。明治から昭和20年まで、日本国内の出版物は、内務省に2部納本され、検閲を受けていました。検閲の結果、発禁禁止（発禁）等の処分を受けたものは、内務省で保管されてきました。①うち1部（正本）は、検閲の実務に使われていたため、検閲官の書き込み等の痕跡が残っています。（なお、も

う1部（副本）の多くは帝国図書館に移管されました。戦後、米軍は日本の行政省庁や教育機関等から刊行物類を接収し米国に輸送し、その大部分はLCに移管されました。その中には、内務省で保管されていた発禁図書も含まれます。②

発禁処分を受けた図書のうち、当館未所蔵分の1,062冊については、昭和51年から昭和53年にかけて当館に資料が返還されました。③

その後、LCがマイクロフィルムを作成した資料については、マイクロフィルムでの購入による収集を行いました。④、その他の資料については収集できていませんでした。これが、今回公開した「内務省検閲発禁図書」です。



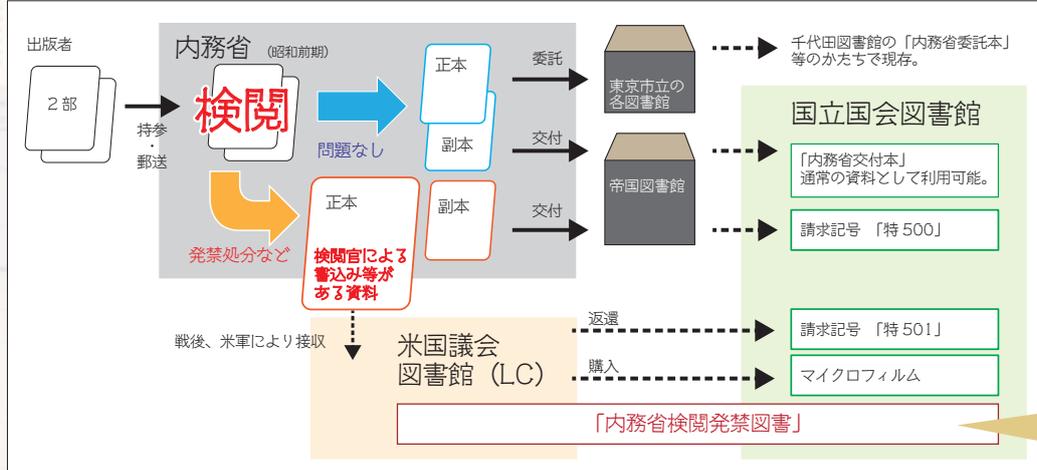


- (1) 大塚奈奈絵「受入後に発禁となり閲覧制限された図書に関する調査—戦前の出版法制下の旧帝国図書館における例—」『参考書誌研究』73号, 2010.11, p.27-53. 大塚奈奈絵「国立国会図書館所蔵『発禁図書番号目録』安寧ノ部・風俗ノ部」『参考書誌研究』77号, 2016.3, p.108-269. 小林昌樹「内務省納本雑誌との出会い—国立国会図書館にない本」『国立国会図書館月報』673号, 2017.5, p.7-11. 藤本守「アメリカにおける日本占領関係資料収集の現在—2010年～2015年—」『参考書誌研究』77号, 2016.3, p.11-21.
- (2) 吉村敬子「米国会図書館日本課のWDCコレクション」『Intelligence』10号, 2008.8, p.12-19. 和田敦彦「流通・所蔵情報をとらえる文学研究—米国会図書館所蔵の占領期被接收文献について—」『日本文学』57巻1号, 2008.1, p.56-67.
- (3) 返還されて当館で所蔵している発禁図書は、「特501」という請求記号が付けられており、一般に公開されています（資料はデジタルコレクションでも閲覧可能）。
- (4) 返還されていない検閲出版物のうち、LCがマイクロフィルムに撮影したものを購入しており、憲政資料室で閲覧可能です。
- (5) 「米国会図書館とのデジタル化共同事業協定」『国立国会図書館月報』593号, 2010.8, p.30

この資料について、平成24年度から3年間かけて、LC担当者による資料の劣化・破損状態のチェック、メタデータの作成、修復処置や保存容器の作成を経て、デジタル化を行いました。そして冒頭で述べたように、今年3月から当館デジタルコレクションで公開しています。

検閲官の書き込み等の痕跡は、発禁等の処分に至る意思決定を明らかにする貴重な資料といえます。本号では、今回公開した資料の中から、その実例を数点紹介いたします。

検閲に使われた資料（図書）の主な流れ



国立国会図書館
デジタルコレクション
<http://dl.ndl.go.jp/>

共同事業で収集・公開

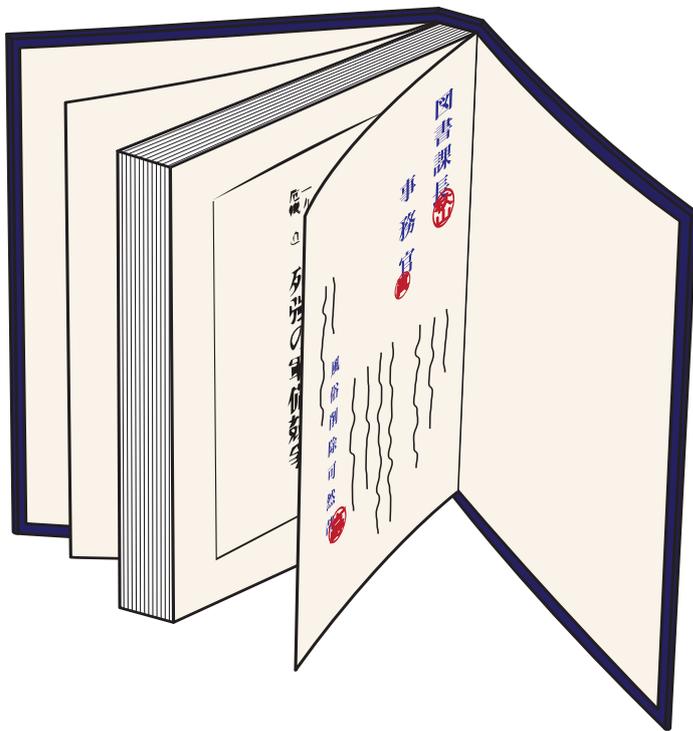
本に残された決裁文書

——注文の多い間借人——

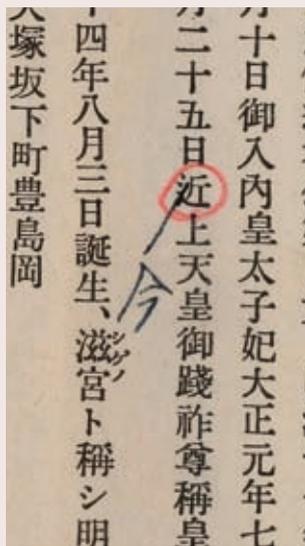
眞子ゆかり

「LC所蔵 内務省検閲発禁図書」コレクションの本には、検閲の跡が残っている。見返し(時には表紙)に、その本の内容や問題箇所を指摘して処分内容を伺う簡潔な文章が書きつけられ、末尾には書き込んだ人物の印判が押してあるものがある。たいていその右上方には「図書課長」と「事務官」の事務印が職位を反映した配置で押され、その下にはその役職者の印判もしくはサイン。そして、処分内容を示す大き目の事務印が押されていることが多い。起案文と確認印、つまり本の見返しが検閲の決裁文書(稟議書)に利用されていたのだ。

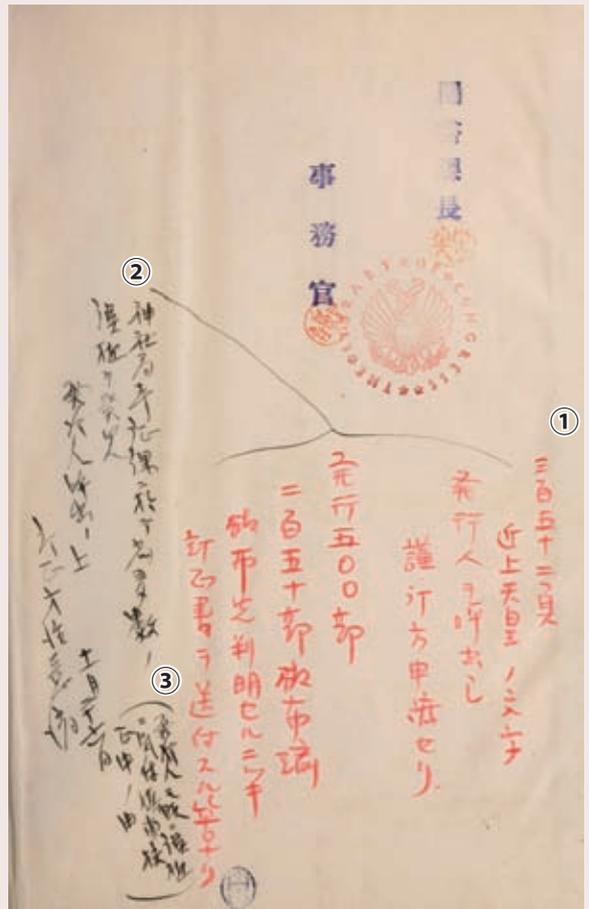
この見返しに残された決裁文書と当時の関係者の証言とを合わせる。と、検閲の過程は、まず担当者が下読みして問題のある個所に赤で傍線を引き、見返しにその頁数や判断理由を記載して処分案を起案する、次に指摘箇所を役職者(課長決裁が多いが局長決裁のものもある)が確認して処分内容が決定されるという流れだったことがわかる。コピー機もなかった時代、本そのものにはいわば間借りしてしまえば、検閲者がそれぞれ注文をつけた個所の情報は確実に伝達され、その後も本と一体で保管されていく。合理的な文書管理法だが、そこに情報公開の視点はなく、



※記事内「info:ndljp/pid/xxxxxxx」は、国立国会図書館デジタルコレクション内の資料を一意に識別するために付与されている永続的識別子です。



- ① 三百五十二頁 近上天皇ノ文字
発行人ヲ呼出シ 謹訂方申渡セリ
- ② 神社局考証課ニ於テ尚多数ノ 誤植ヲ発見
発行人呼出ノ上 十一月二十六日 訂正方注意済
- ③ 発行人モ既ニ誤植 ニ気付慎重校 正中ノ由



資料1 『雲上御系譜 皇統篇』(昭和7年) info.ndljp/pid/10297859

皇室にかかわる表記での誤字脱字は、検閲する側は無論のこと検閲される側にも、今回はとりあえずそのまま刊行して次の版で訂正するなどありえないという認識が共有されていた様子がかがわかる。なお、図中図書課長と事務官の間にある大きめの印はLCによるもの。

あくまで検閲業務のため。それがこの度、本の一部だったためにデジタル化され、著作権保護期間満了の本の文書はインターネットでも見ることが出来るようになった。内務省検閲の全体からすればごく限られた数ではあるが、検閲の仕事とは実際どんなものだったかを窺い知ることが出来る事例をいくつかご紹介したい。

安寧を乱すもの —— 国家体制維持のため

たとえ一字の誤りでも

図書の検閲は出版法にその法的根拠をもつが、その本が社会の安寧を害するものかどうかを判断する検閲実務は「安寧紊乱出版物の検閲標準」に拠って行われていた。その基準の筆頭に置かれていたのが、皇室の尊厳を冒瀆する事項だ。ただ、実際の検閲例を見てみると、作意があつたというより不注意によるケースが多かつたようだ。

例を挙げると、『女子修身訓 卷4』⁽¹⁾では、「大正天皇」を「大正大皇」、「修身科受験答案式要覽・附・勅語、詔書並ニ釋義」⁽²⁾では、教育勅語中、「皇祖皇宗国」を「皇祖皇国」とした。これらの誤りは、いずれも「本版訂正（この版で訂正させる措置）」処分となっている。

『雲上御系譜 皇統篇』(資料1)では、「今上天皇」を「近上天皇」としていたので、発行人を呼出し、謹んで訂正するよう申し渡した旨が赤鉛筆で記されている(資料1①)。だが、間違いはそれだけではなかつたようで、後からその左方に別の人物が万年筆で新たな情報を書き込んでいる(資料1②)。

表現手法やデザインも問題となつた。「服制を改むるの勅語」(明治四年)を洋服販売の広告の道具にしているとして削除処分になつたケース(『誤れる新調洋服ご法度記事の爆撃・本年こそ洋服を勧める絶好機会』資料2)、表紙一面を埋める菊

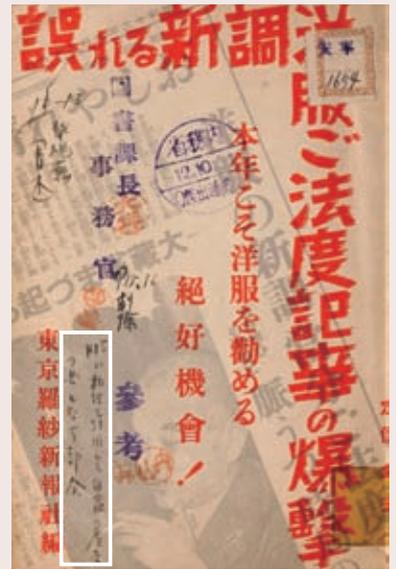
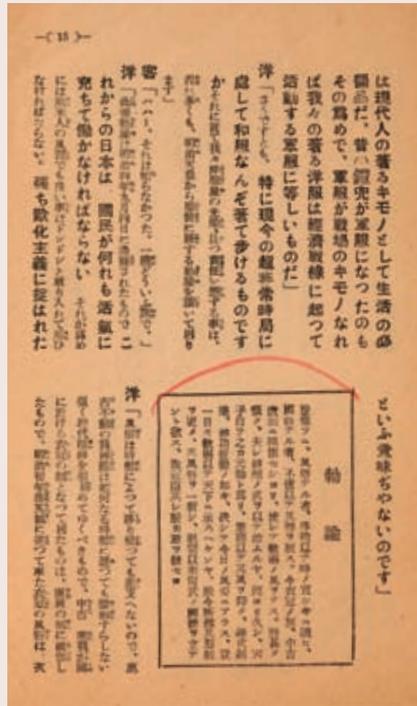
(1) 『女子修身訓 卷4』 info.ndljp/pid/10297993

(2) 『修身科受験答案式要覽・附・勅語、詔書並ニ釋義』 info.ndljp/pid/10298322



資料3
『兵庫縣畜産組合聯合會二十年史 上巻』
(昭和15年) info.ndljp/pid/10297969

本版訂正



資料2
『誤れる新調洋服ご法度記事の爆撃：
本年こそ洋服を勧める絶好機会！』(昭
和12年) info.ndljp/pid/10298392

表紙に「P.15に勅語を引用して自家の広告の具となす部分」と記されている(上
図カコミ部分)。



資料4 『事變讀本』(昭和13年)
info.ndljp/pid/10297982

天皇、皇后兩陛下の御写真、極度に粗雑

秋め、おは雨竹ニ、天皇、皇后兩陛下の御写真、極度に粗雑、
七十五頁、軍務局蔵)

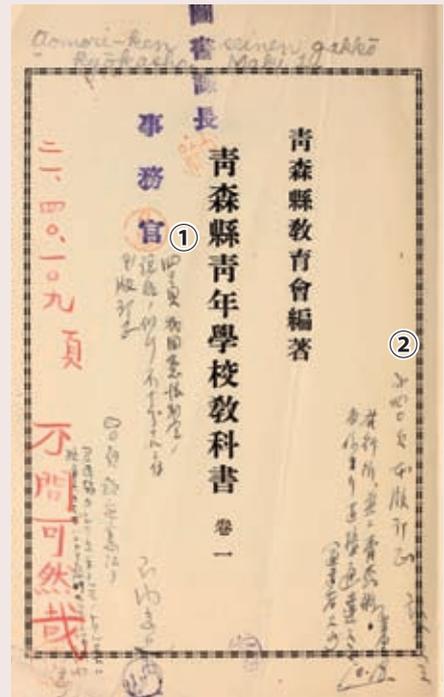
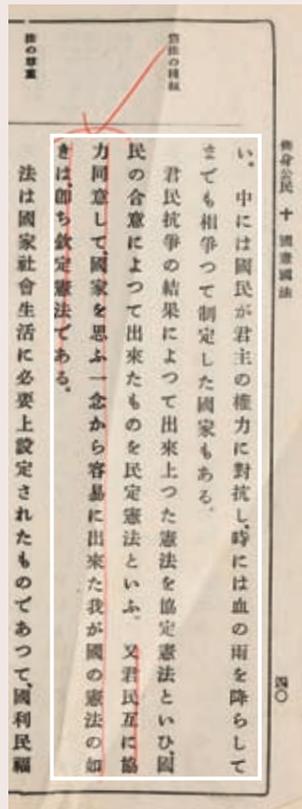
安寧削除



紙片が貼付され、写真左上部分が波打っている。

資料 5a 『青森縣青年學校教科書 卷1』
info.ndljp/pid/1460475
 <請求記号 特500-450>

「特500-」で始まる請求記号の資料は、発禁本の副本で(p.5参照)、1937(昭和12)年以降、内務省から帝国図書館に交付されていた。



資料 5
 『青森縣青年學校教科書 卷1』(昭和10年)
info.ndljp/pid/10298390

の図柄が皇室の菊花御紋章に類似していることが問題となったケース(『兵庫縣畜産組合聯合會二十年史上卷』資料3)、奈良県にある小学校が出版した『事變讀本』(資料4)は「天皇、皇后両陛下の御写真極度に粗雑」と写真の印刷の質が問題とされた。当時の社会体制では、皇室に関わる出版物に対して最大にして細心の注意が払われていたことがうかがえる。

憲法の問題 処分後の訂正のあと

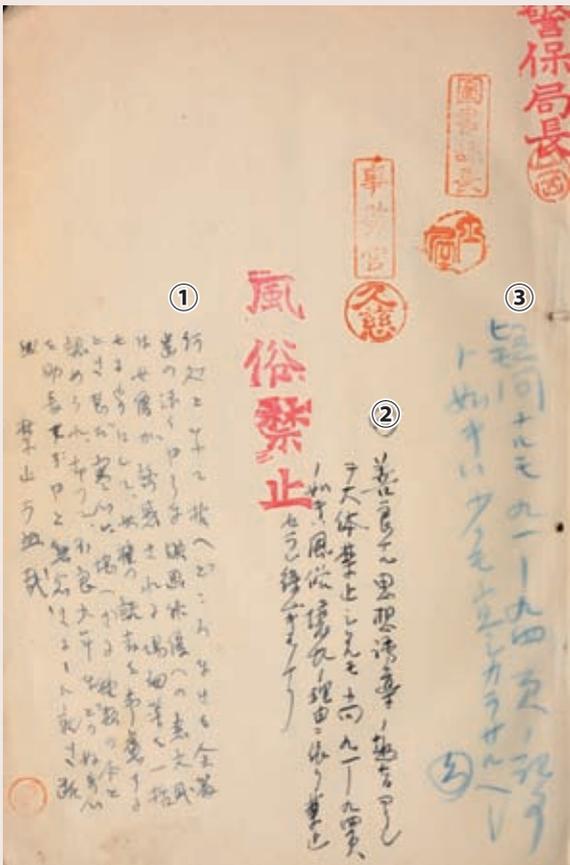
天皇制に関連して処分を受けたケースをもうひとつ。『青森縣青年學校教科書 卷1』(資料5)では、明治憲法の説明が問題となった。検閲担当者二人が出した問題なしとの判断に対して、事務官は「四〇頁我國憲法制定ノ説明ノ個所不十分ナルニ付本版訂正」(資料5①)とコメントを付け、その結果、「第四〇頁本版訂正 発行所、並ニ青森県当局当係ヨリ直接通達スミ」(資料5②)となったことまでは決裁文書からわかる。

この本は当館にも帝国図書館旧蔵書として所蔵があり(資料5a)、現在はマイクロフィルムからデジタル化された画像を見ることが出来る。今回原本を確認したところ、資料5の白い枠で囲った部分に、

(二行省略)

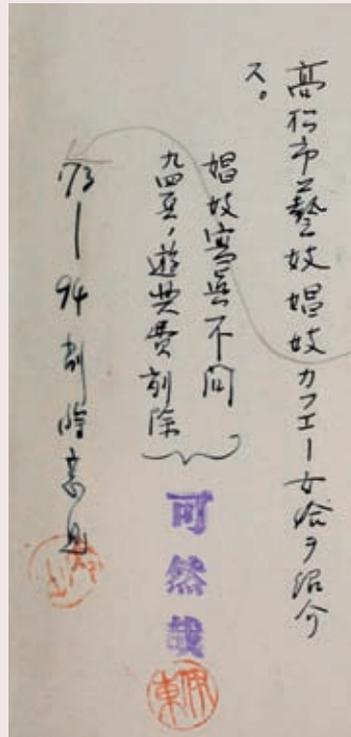
君民の協定によつて出来た憲法を協定憲法と云ひ、国民の合意によつて出来たものを民定憲法と云ふ。又我が国の如く、協定によつて出来たものでもなく、合意によつて出来たものでもない、全く明治天皇の大御心によつて出来た憲法を欽定憲法と云ふ。

と印刷された紙片が貼付してある。糊で貼ったあとにできたシワが八十年以上を経た今でも残っていた。当局から本版訂正の指示を受けた発行所は、ちょうどよい字数の訂正文に変更し、それを印刷した発行部数分の紙片を用意して一部一部貼っていったのだろう。



資料7 『スター 秘話戀の文がら』(昭和2年)
info.ndljp/pid/10297837

- ① 何処といふて捉へどころなきも全篇齒の浮くやうな映画俳優への恋文或は女優が誘惑される場面等を一括せるものにして、此種の読者を考慮するとき甚だ寒心に堪へざる種類の本と認められ、却つて、不良少年などの好奇心を助長せずやと懸念さるゝに就き断然 禁止可然哉
- ② 善良ナル思想誘導ノ趣旨ヨリシテ
大体禁止シタルモ尚九一―九四頁ノ如キハ
風俗壊乱ノ理由ニ依リ禁止セラレ得ベキモノナリ
- ③ 疑問ナルモ九一―九四頁ノ
記事ノ如キハ少クモ宜シカラサルヘシ



資料6
『高松情緒』(昭和12年)
info.ndljp/pid/10298341

検閲担当者は、紹介写真は不問、遊興費一覽は削除の処分案を提示したが、上位の検閲担当者の「73-94削除意見」とのコメントで、結局、写真と遊興費一覽の両方が削除処分となった。

94

花代金表

一、一夜間留代	八圓五拾錢
日 設	四圓
午前零時ヨリ	四圓
午前二時三十分ヨリ	三圓八拾錢
一、一時間留代	三圓
但シ前夜ヨリ引續キ正午迄	四圓八拾錢
正午ヨリ夕時迄	三圓
其他	三圓
正午ヨリ夕時迄	三圓
正午ヨリ夕時迄	三圓
一、時	三圓
一、花	三圓
一、外出ハ晝夜共一時間短増トス	三圓
一、紋日ハ左之通りトス (紋日五割増)	三圓
新舊一月一日ヨリ三日迄トス	三圓
一、二階降りノ場合ハ茶代トシテ金委拾錢申受候	三圓
以上花代ノ外何等請求不仕候	三圓
昭和十年十一月	三圓

以上

北新地貸座敷業組合

風俗を乱すもの

遊里・魔窟ガイドブック

観光案内本の『高松情緒』（資料7）『伊勢桑名…名所と著名商工業内』^③が検閲処分の対象となったのは、風俗を害する本を規制する「風俗壊乱出版物検閲標準」の遊里、魔窟等の紹介にして扇情的に亘り又は好奇心を挑発する事項に抵触する内容が含まれていたからだ。

『伊勢桑名…名所と著名商工業内』では、検閲担当者が「本書ハ伊勢桑名ヲ紹介シタルモノナルガP24、25ハ貸座敷ノ紹介ヲナシ、娼妓ノ揚代、長島廓ノ写真を掲載シ好奇心ヲ挑発スル虞アルニ因リ、P24、25風俗削除可然哉」と処分案を提示、別の検閲担当者も「娼妓ノ揚代ハ従来ヨリ許サ、ル方針ナリ」と同意の旨を書き込んでいる。

苦慮する検閲当局

ところが、風俗・大衆文化は時代と共に変化していく。新しいタイプの本を検閲する難しさがコメントか

ら垣間見えるケースもある。『スター秘話戀の文がら』（資料7）は、いわゆる芸能界のもの。検閲担当者はかなり長めの処分理由を記している。

社会に悪影響を与えそうだという強い懸念を持っているのだが、それをうまく表現できないもどかしさのようなものがそれぞれのコメントに出ている。「何処といふて捉へどころなきも」、「甚だ寒心に堪へざる」、「善良ナル思想誘導ノ趣旨ヨリシテ」、「疑問ナルモ」、となんとか理由をつけようと呻吟した挙句、とにかく「九一九四頁」は「風俗壊乱」「少クモ宜シカラサルヘシ」！

検閲当局と聞くと強権的なイメージを抱きがちだが、検閲もまた法に基づく行政権の行使には違いなかったのだ。どの部分が具体的に違反しているかと判断すればいいのか、苦慮している様子が仄見える。

そんな検閲当局が、発売禁止処分とせざるを得なかった心情を恠怩たる思いで吐露したケースを最後にご紹介したい。

名訳が禍して

「まことに聊齋志異は支那古典文学に咲いたる妖しく、美しき名花である」と絶賛するのは文学評論ではなく、『出版警察報』（内務省警保局発行 昭和八年十二月 第六十三号）、前月分の業務概要を関係各所に周知させるための月報の記事の1節。表紙には「秘」とある。その中に、『聊齋誌異 第一巻』（資料8）について、

決裁文書ではどう書かれているか見てみよう。最初の検閲担当者は、作品解説のあと「注意程度の部分はあるが、訳者の態度は学究的で、且つ特別な種類のものだから、問題なしでよろしいか」と処分案を提示した（資料8①）。次の担当者もこれに同意（資料8②）。

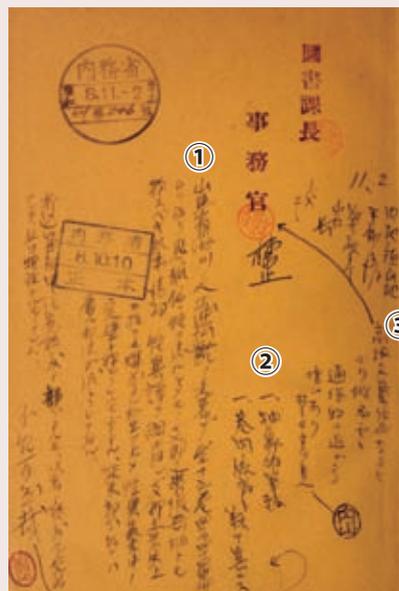
それを三人目の担当者が「確かに高級文芸作品ではあるが、ふり仮名等で通俗的すぎるので禁止意見」とひっくり返す（資料8③）。原書の雰囲気、味わいを残すために翻訳者が工夫したルビを「通俗的」と断じる。

本書は在来の群小聊齋志異の訳書を圧する如き名訳で忠実に原文の、美しさを伝へやうと苦心した跡の歴然と看取されるものであつた、その為在来の訳文でばかりあつた風俗上面白からざる場面を平易に克明に訳し出し、結果に於て禁止処分を附せざるを得ない様なことに立ち到つたのは検閲者の立場として惜しい気がする。文学或は芸術の一つの力作傑作と称せらるるものを検閲する場合の大きな悩みは常に此の種の問題に於て古来より繰り返へされて居る。（中略）

蓋し検閲は言ふまでもなく警察取締であつて常に読者大衆に対する出版物の影響を客観的に観察して決定せらるべきものであるが故に、読者層の知識水準、教養程度、情操傾向、趣味風尚（中略）等に対する正確なる認識が決定的要素となるのである。芸術上の価値判断は決して右の警察的見地よりする要求を抹殺し去る事は許されない。

『出版警察報』（内務省警保局発行 昭和八年十二月 第六十三号）

③『伊勢桑名…名所と著名商工業内』 info:ndljp/pid/10298477



資料8
『聊齋志異 第1巻』(昭和8年)
info.ndljp/pid/10297765

① 山東省淄川ノ人蒲松齡ノ名著テ全十六卷
四百四十四篇ヨリ成リ鬼、狐、仙、怪ヲ誌
ルシタモノ支那文芸復興期トモ称スベキ明
末清初ノ怪異譚ヲ網羅シ、支那文学史上ニ
於テモ輝然タル存在ヲ占メ、怪異叢書中ノ
完璧ト称セラレルモノデアル、従来部分の
ニハ屢々邦訳方試ミラレテ居ル、
折込箇所中、注意程度ノ部分アルモ、訳者
ノ態度学究的ニシテ、且ツ特種ナルモノナ
レバ、不問可然哉

② 一、抽象的筆致
一、巷間ノ俗書ト類ヲ異ニス

③ 高級文芸作品なるも

ふり仮名やら
通俗的に過ぎる

嫌ひあり

禁止意見

風俗禁止

結局、事務官は「禁止」処分が適

当と判断、課長もこれを認めて、こ
の本は十一月二日(発売)禁止処分
となったことが丸いほうの事務印で
確認できる。

ご覧のとおり、決裁文書のコメン
トはどれも簡潔で素っ気ない。しか
し、先に『出版警察報』の記事を読
んでおくとどうだろう。それぞれの
行間から聞いたはずもない検閲担当
者たちの声が聞こえ、見たはずもな
い議論の様子が生き生きと目に浮か
んでくるような気がしてはこないだ

ろうか。

顛末

『聊齋志異』の訳者柴田天馬は、
次のエピソードを書き残している。

昭和八年第一書房から「全訳聊齋志異」
の第一巻が発行された。紺クロスの表紙に、
子持輪郭つきの茶色の題箋を貼り、薄茶がか
つた特漉きの用紙で、註を頭部に入れた総
輪郭の本文だった。デミではあるが、中国式
の感じのよい装釘である。

これで聊齋志異の全訳を母国に送れると

思っていると、長谷川君から発売禁止になつ
たという電報がきた。聊齋は猥本だといふの
ださうだ。(中略)

その後上京した時、鹽谷博士の令甥伊能
源太郎君の紹介で、内務省の検閲係をしてゐ
る柴田小三郎君にあひ、聊齋の発禁に対す
る意見をたゞすと、氏は言下に、聊齋志異は

猥本ではないかと断じた。東大の支那文科
を出た柴田君には、志異の文学的価値、嬌
艶と淫猥のいづれに属するかが、はつきり判つ
てゐたのである。併し風紀を取締つてゐる人
たちは、裸像さへ見れば腰巻を持出すのが商
売だから、志異の発禁も是非に及ばぬことだ

と観念した余は、序があつたら当局に話して
もらひたいと、あつさり頼んで引下り、長谷
川君と相談して、暫く機会を待つことにした。

〔『聊齋志異研究』柴田天馬 1953 創
元社〕

それが彼らの「商売だから」と軽
蔑された内務省検閲は戦後廃止さ
れ、柴田天馬訳『聊齋志異』全十巻
(創元社)の刊行が開始されたのは
一九五一(昭和二六)年のことであ
る。

本屋に

ない

本



Yanagimoto Koichi -archivist's vision

things that Mr. Yanagimoto left behind, 1969-2016.

ランドスケーププロダクツ [刊]

2017.4 31p 22cm

<請求記号 Y93-L12121>

柳本浩市という名前を聞いても、ピンとこない方も多いかもしれない。

本や雑誌の切り抜きに始まり、カタログやチラシ、製品のパッケージや梱包材から一点もののデザイナーズ家具まで、ありとあらゆるものを収集し、その膨大なコレクションを活かして様々な出版やイベント、商品や事業などの企画・監修・コンサルティングなどを手がけた人物である。2016年に46歳の若さで急逝してしまったのだが、「知る人ぞ知る異能の人」といったところだろうか。

遺品となったコレクションは、2017年4〜6月に都内で開催された追悼展「アーキヴィスト 柳本さんが残してくれたもの」で初めて多くの

人の目に晒されることとなった。そこには、各国の牛乳パックを陳列した棚、ずらりと並べられたガムの包装紙、未整理のまま収納されていた雑多な日用品、700冊にも及ぶ切り抜きファイアー、幼少期のスケッチなどの夥しいモノが陳列されており、来場者を圧倒していた。

この追悼展で販売された本書は、「ファイアー」「ポストモダンリズム」「ミュージアム」「ネットワーク」「伝説」といった14のキーワードから、「生涯を通じて、情報やものを貪欲に収集し、その歴史的背景や社会性と心理を読み解き、多岐にわたる活動を通じて未来に生かす姿勢を貫いた」と評される柳本氏の活動と思考に迫ろうとするものだ。執筆

しているのは、親交のあったデザイナーや編集者、学芸員や建築家といった人々である。

一読して浮かび上がってくるのは、柳本氏の幅広い知識と人脈と、それらの源泉となるコレクションを実現させた規格外のキャラクターだ。空のスペースを抱えて旅立ち、旅先のスーパーマーケットなどで大量に購入した洗剤や調味料などのパッケージの自身を抜いたうえで、ひとつひとつ丁寧にサラララップにくるんでスーツケースにしまひこんでいたという逸話など、その最たるものだろう。柳本氏は生前こうして収集してきた自らのコレクションを、デジタルアーカイブとして広く活用できるようにする構想を持つ

ていたという。その構想が本人の死没とともに頓挫してしまったことは、残念でならない。

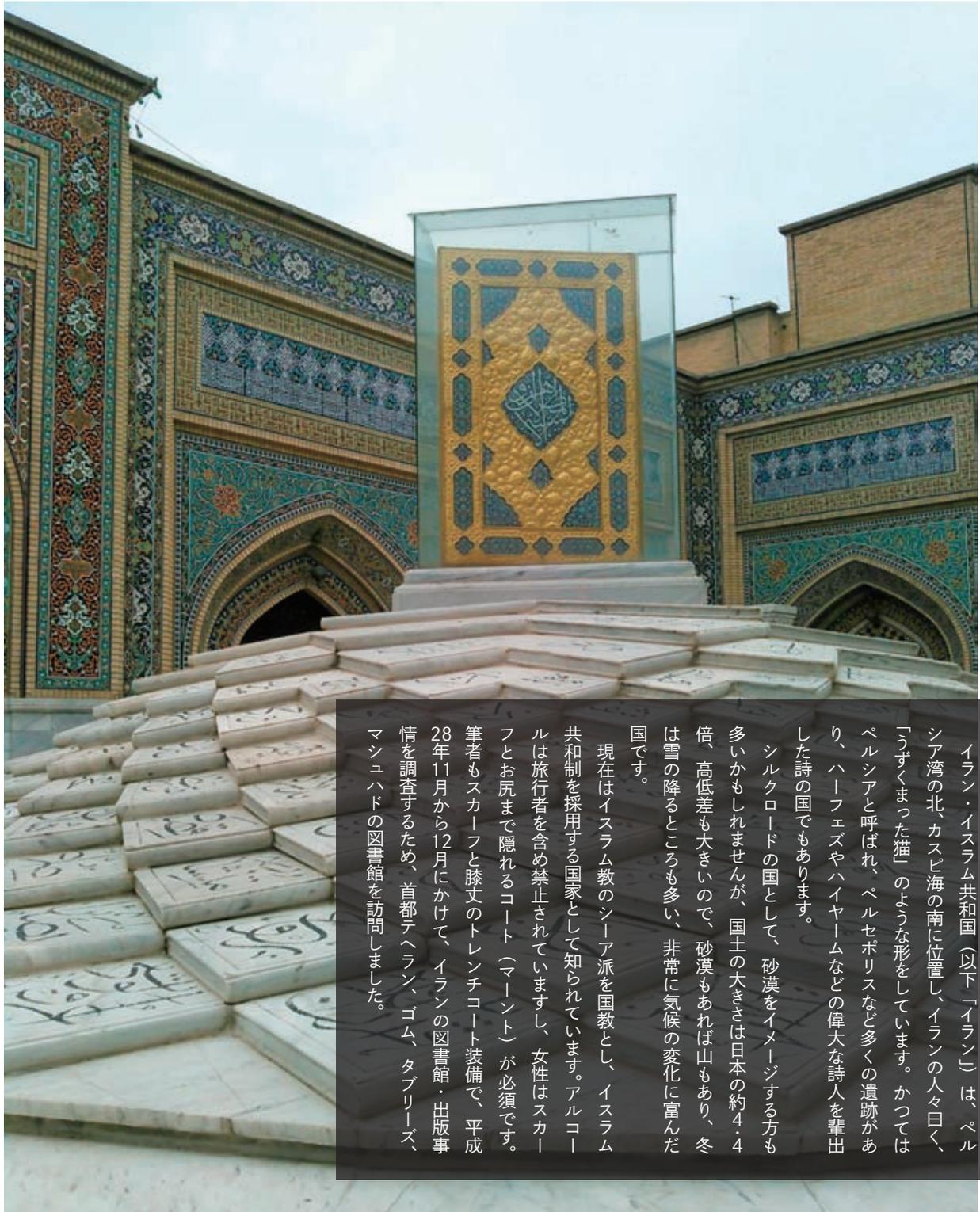
また、本書には柳本氏がSNSなどに残した印象深いフレーズも数多く紹介されている。それらは多くの人に「気付き」を与えてくれるに違いない。

「私の仕事の多くはこういったコスト(死蔵)化されたものをプロフィール(生きた情報)に置き換えることにあるのだけど、まさに図書館もプロフィール化する事を考えなければならぬ。」

柳本氏のコレクションは、本稿執筆時点(2017年10月)で、引き取り手が決まらないまま、都内某所に置かれたままだという。

(福林靖博)

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。



イラン・イスラム共和国（以下「イラン」）は、ペルシア湾の北、カスピ海の南に位置し、イランの人々曰く、「うずくまった猫」のような形をしています。かつてはペルシアと呼ばれ、ペルセポリスなど多くの遺跡があり、ハーフェズやハイヤームなどの偉大な詩人を輩出した詩の国でもあります。

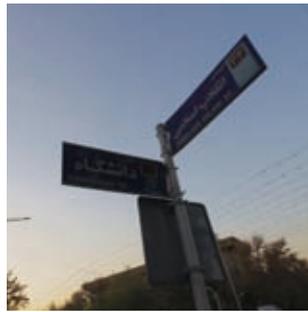
シルクロードの国として、砂漠をイメージする方も多いかもしれませんが、国土の大きさは日本の約4.4倍、高低差も大きいので、砂漠もあれば山もあり、冬は雪の降るところも多い、非常に気候の変化に富んだ国です。

現在はイスラム教のシーア派を国教とし、イスラム共和制を採用する国家として知られています。アルコールは旅行者を含め禁止されていますし、女性はスカーフとお尻まで隠れるコート（マント）が必須です。筆者もスカーフと膝丈のトレンチコート装備で、平成28年11月から12月にかけて、イランの図書館・出版事情を調査するため、首都テヘラン、コム、タブリーズ、マッシュハドの図書館を訪問しました。

世界図書館紀行

イラン・イスラム共和国

緒方 佑衣^{ゆい}



テヘラン市内



アルボルズ山脈は、イランの最高峰、標高 5610m のダマーヴァンド山を擁する大きな山脈。イラン神話の世界の中心の山々と同名です。筆者は、大学の卒業論文で、ある叙事詩に出現するアルボルズ山脈は神話的なものか、実在の物かをテーマにしたため、その姿が見えた時には感動もひとしおでした。

イランでの女性の服装① 基本装備

まずはスカーフで髪を隠します。といっても、現地のオシャレさんには半分くらい頭を出している人も。……なら多少ラフでも大丈夫かしらん、と油断していると、道行くおじさまおばさま方にスカーフ慣れしていない外国人と看破され、「スカーフ落ちてるよー」のジェスチャーですぐに指摘されたのでした。



次はマントと呼ばれる、体の線が隠れるコート。といっても、形に決まりはなく、お尻が隠れる丈があれば良いようで、トレンチコートを颯爽と着こなすご婦人方も多かったです。



夕暮れ時の街角。テヘラン美人はトレンチコートに色とりどりのスカーフがファッションナブル。



テヘランのフェルドゥースイー広場のフェルドゥースイー像（左）とハーフェズ広場のハーフェズ像（右）。イランには詩人の名が付いた道や広場が多い。

イランの首都テヘランは、アルボルズ山脈の南に位置する標高 1200メートル程の高原の町で、同国最大の都市です。イランの文化の中心でもあり、多くの文化機関や出版社が軒を連ねます。勿論、図書館も様々存在しています。

イラン・イスラム共和国 国立図書館

イランの国立図書館は、正式名称をイラン・イスラム共和国国立図書館・文書館といい、1937年に成立した国立図書館が幾度かの改組を経て、2002年に国立文書館と合併した機関です。テヘランの中心部から北に10kmほど行った所にある、小高い丘の上に国立図書館が、大通りを隔てたところに国立文書館があります。

筆者が訪ねた国立図書館は、約10万㎡の広大な敷地を持ち、地下4階、地上4階の8階建ての大きな図書館です。マグニチュード9まで耐えられる耐震設計となっています。規模・来館者数共にイラン最大の図書館で、約375万点の蔵書を持ち、イラン国内で刊行

イラン・イスラム共和国 国立図書館



国立図書館正面。図書館の建物は広大な敷地の左奥に見える。



巨大コーラン。こちらは残念ながら中を見ることはできない。



ハイヤームの詩集。巨大なページを繰って読むことができる。

される全ての刊行物を納本制度に基づき収集するとともに、国外で刊行されたペルシア語刊行物、イランに関する刊行物の網羅的な収集を目指しています。

広々としたエントランスです。目に飛び込んで来るのは大きな本。金属製のハイヤームの詩集と、完成までに4年を要した巨大なコーランが展示されています。中央には受付カウンターがあり、両脇に検索用端末が並んでいます。閉架式のため、検索、資料の請求は端末を通して行います。ちなみに、資料は自動搬送機で約4キロの距離を運ばれてくるとのこと。図書館の広さがお分かりいただけるのではないかと思います。

館内には10の主題別閲覧室と視覚障害者用閲覧室があります。閲覧室内には小部屋が設置されており、研究者と教師が研究室として利用できます。6ヶ月から1年間占有でき、研究室内に利用している資料を置いておくことも可能です。また、天井近くに回廊のような見学用の通路があります。学校の社会科学見学などで使われ、図書館全体を上からみることができ、大きな声で説明しても利用者の邪

魔になりません。

ここまでで気を付けたいのが、ゲートも検索用端末も閲覧机も男性用、女性用と分かれています。イスラムの教えに従い、見知らぬ男女が隣りあわなくても良いように配慮されています。バスや電車は前後や車両毎で区切って男女がはっきり分けられていますし、図書館でも、スペースが許せば閲覧室等が男女別になっていることが多いのです。外国人なら間違っても大丈夫。とはいえ、その時の気まずさったらありません！（コラム参照）

一般エントランスとは別に入口を持つ閲覧室が三つあります。一つは児童書閲覧室です。ドーナツ型の部屋に児童書が並べられ、下の階が書庫になっていました。両親に連れられてくる子どものほか、学校の先生が生徒たちを引率してくることも多いのだそう。筆者の訪問時も、小学校低学年くらいの子どもが一人、本に熱中していたのが印象的でした。二つ目はイラン学・イスラム学閲覧室で、イランとイスラムに関する各国、

各言語の本があります。研究者用の専門室であるため、担当司書に外国語が堪能な人が多く、訪問時は担当全体で6〜7言語が扱えるとのことでした。最後の一つは貸出も行い閲覧室で、この閲覧室に付属する書庫の資料は復本が館外貸出用として揃えられており、閲覧室は清掃時間を除く24時間開いています。他の図書館が夕方には閉まることが多い中、夜でも開いているので、図書館を利用したい社会人が終業後、車を飛ばして訪れることが多いようです。

ホセイニーエ・エルシャード 公共図書館

テヘランの北東部、「これぞ中東！」と思わせるドーム様式の宗教施設の地下に図書館があります。ホセイニーエ・エルシャード公共図書館は、宗教施設に付属する、行政によらない公共図書館です。

規模的には、大きめな東京都の区立や市立の図書館程度でしょうか。筆者が訪問したのは平日の夕方でしたが、学生から年配の方ま



研究者用の小部屋



エントランスから閲覧室と続く階段



児童書閲覧室。壁際に絵本などが並ぶ。



イラン学・イスラム学閲覧室



閲覧室。上部には見学者用の通路も。



آقایان 女性用？
 خانمها 男性用？



こちらはエントランスホールに設置されている検索用端末。貼られているのは殿方を意味する آقایان (アーガーヤーン)。ホールの向かいにも検索用端末が並べて設置されており、そちらにはご婦人を意味する خانمها (ハーノムハー) と表示がある。イランを訪れる際にはぜひとも覚えておきたい言葉である。

入館前に通過する守衛詰所には中央に仕切があり、奥が女性用、手前が男性用のゲートになっている。うっかり男性用入口から守衛詰所に入ってしまった筆者は、担当者が迎えに来るまで利用者諸氏にギョツとされつつ男性側で待つことに。女性側への移動を申し出るも、にこやかに必要ないと言ってくれる守衛さんの優しさがありたくも切ない…



閲覧室



カラーテープのガイド



入口には地下の図書館に続く階段が。



オリジナル・キャラクターのオミード君とアーレズーちゃん



児童書書架の一部。奥に障害児童用資料コーナーがある。

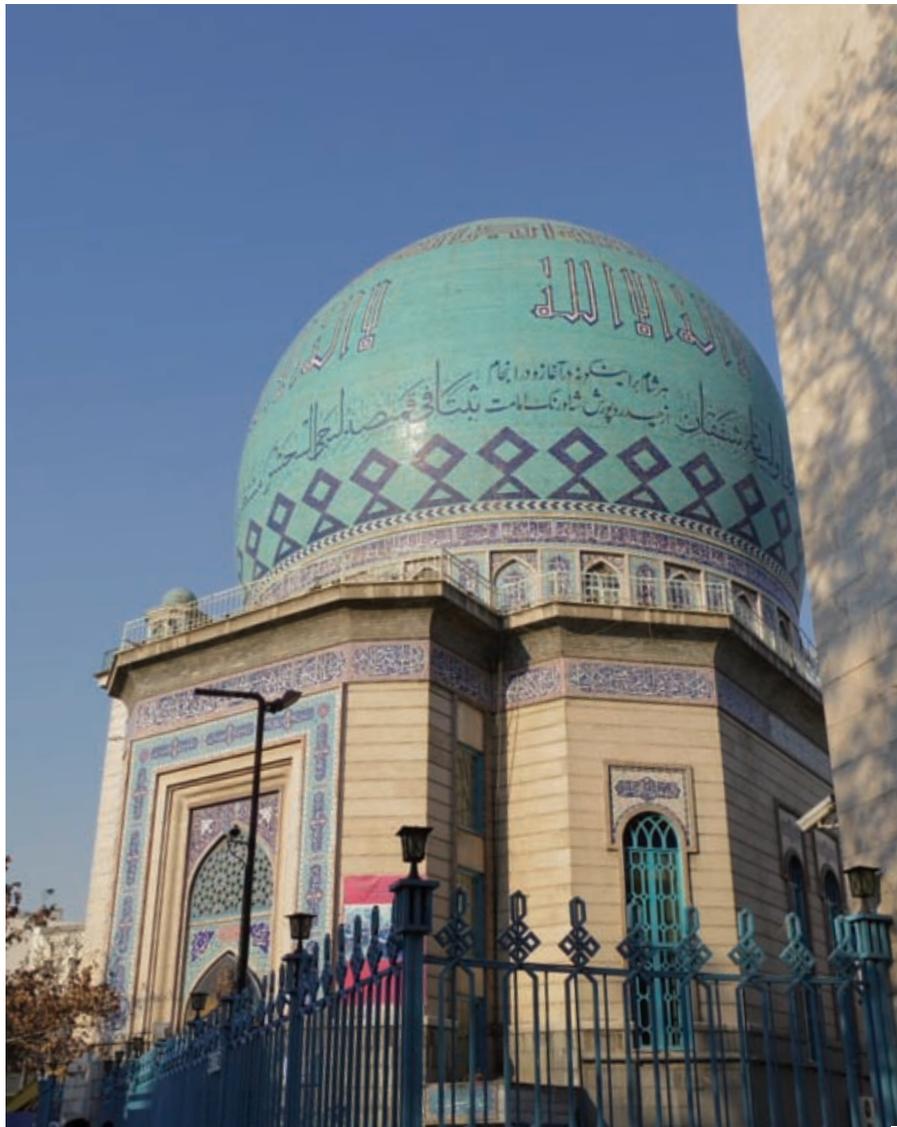


展示スペースと閲覧室。地下だが天窗もあり、明るい空間。

ホセイニーエ・エルシャード 公共図書館

で様々な人々にぎわっています。利用には有料の会員登録が必須で、登録期間が長いほど一度に借りられる本の数が多くなるという特典が本好きの心をくすぐります。

ドーム脇の入口から地下へ下りると、床にカラーテープでガイドが引いてあり、閲覧室などに繋がっています。同館は障害者サービス、児童サービスに力を入れています。





2階左側の開架書庫。元々は向かいの男性用閲覧室と左右対称の形になった女性用閲覧室だった。そのためとても明るい。居心地は大変良いが、資料にはあまり良くないのが悩みどころのこと。



建物入口。



写本室内の展示スペース。写本室の入口。「世界の記憶」の登録資料を含む、貴重な資料を保管しているため、セキュリティには気を使っているとのこと。



1階にある児童・ヤングアダルト室。職員が飾り付けたり、週がわりのテーマ展示をしたりと、外観の重厚さとは違い、明るく楽しい印象の閲覧室になっている。子ども向けのプログラムとしてグループリーディングやストーリーテリング、学校に向かっているビブリオバトルなどの読書活動の推進も盛んに行っているとのこと。

タブリーズ中央図書館

タブリーズ中央図書館

タブリーズは東アゼルバイジャン州の州都であり、トルコやアゼルバイジャンとの交易路として古くから栄え、いくつもの王朝の首都となったこともあるイラン西北部の文化と経済の中心地です。食事とお菓子の美味しさと、世界遺産のバーザールが有名です。

タブリーズ中央図書館は1956年に設立された、イラン最古、最大の公共図書館です。タブリーズの知識人や、蔵書家から寄付されたコレクションを蔵書の中心として設立されました。現在は、1万㎡の建物に所蔵する資料数は約34万冊で、特に寄贈された資料群を中心に、写本や石版本、文書など貴重書のコレクションが有名です。

敷地入口のゲートは日本の公共図書館と違い、少々威圧感を感じさせます。建物の入口も重厚で、一般人には少々入りにくくも感じられますが、主な利用者は学生や主婦と、タブリーズの市民に親しまれているようでした。

地下1階には逐次刊行物室と写本室があります。逐次刊行物室

には、最近の物だけでなく、約150年前、カージャー朝時代に作られたイラン最古の新聞などが所蔵されています。カージャー朝期はイランの立憲運動の展開に伴い新聞の刊行が始まった時期で、当時、タブリーズは立憲運動の中心地の一つでした。初期のイランの新聞が多く所蔵されている逐次刊行物室は、この地で盛り上がった政治運動を支えた、最先端の知的活動を思わせます。

写本室は、頑丈な入口扉から中に入ると、閲覧デスクと展示スペースがあります。が、展示ケースは空……というのも、通常は警備上の観点から展示してないのだそうです。基本的に資料の原本利用も不可ですが、特に必要と認められるときにはのみ、この写本室で閲覧に供されます。所蔵資料の半数以上がナフジャバーニー兄弟から設立時に寄贈されたもので、このタブリーズの高名な蔵書家兄弟のコレクションは、写本研究者なら知らねばもぐりと言われてしまうほど充実したものです。勿論、これ以外の写本も素晴らしい物が多く、中でもユネスコの「世界の記憶」に登録されている『ラシード



大会議場室エントランスの天井。



装飾タイル（こちらの模様も八角形）が美しい壁面。残念ながら搬送機を通すための穴が……。



図書館前庭にある、本を積み上げた形のモニュメント。



大会議場。3言語の同時通訳設備がある。

アースターネ・ゴドセ・ラザヴィー 図書館（レザー廟図書館）

区ワクフ文書補遺写本作成指示書』は、14世紀に編纂されたペルシア語による世界史『集史』の著者であるラシードウッディーンの直筆の資料です。世界史の教科書に載っていた人の直筆！しかも写本作成の中心地としてタブリーズが栄えた時期の物！と思うも、貴重過ぎて、流石に見せてくれとお願いする勇気は筆者にはありませんでした……

アースターネ・ゴドセ・ラザヴィー図書館（レザー廟図書館）

マシュハドは8代目イマームであるイマーム・レザーの聖廟（レザー廟）を中心とする複合施設ハラムを擁する巨大な門前町です。シーア派ムスリムにとって、レザー廟はメッカに次ぐ巡礼地なので昼夜を問わず多くの参拝者が訪れます。そのため、ハラムの周りにはホテルや土産物屋が並び、多くの人で賑わっていました。レザー廟及びハラムはアースターネ・ゴドセ・ラザヴィー財団が管理しています。ハラム内には多く

の宗教施設や文化施設があり、美しい壁が囲んでいて、ところどころに入口があります。ハラムは聖域なので、女性は全身を覆う布であるチャードルが必須です。レザー廟図書館も、ハラム内に存在し、財団の下で運営されています。1115年にまで起源を遡ることができ、多数の貴重な写本を抱える、中東で最も古い図書館の一つです。

美しい装飾タイルやドームなどのイスラム建築の中を進んでたどり着いた同館は、大理石とタイルで飾られた3階建ての美しい建物です。現在の建物は1979年のイラン革命後に造られ、8代目イマームにちなんで八角形をしています。2階にあるメイン書庫（閉架式）の狭隘化により、現在新たな書庫を地下に建設中で、完成すれば500万冊の本を収蔵できるようにする予定です。

男女別の閲覧室四つと男女共用の10の特別室があります。特別室は基本的に主題ごとに分かれますが、興味深い特別室として研究者室がありました。博士課程に在籍する大学院生や研究者のみ利用可能で自席を確保でき、資料を25冊

イランでの女性の服装② チャードル

宗教施設等に行くときは、基本装備の上にチャードルを羽織ります。半円形の布を基本に、袖や、頭にひっかけるゴムが付いているものなど、色々な形があります。色柄も、フォーマルな黒（高級品は織模様が美しい!）から白地に小花柄やアニマル柄まで様々で、チャードル屋さんには色とりどりの布が売られています。



半円の弦の中央を頭にかぶせ、顔の脇から下がってくる布を手で持ったり、腕にかけたり、体に巻きつけたりします。

頭部を止めるゴムが付いているものはアラビアンスタイルという名称で売られていました。ゴムなしがペルシアンスタイルだそう。アラビアンスタイルは黒が多く、柄ものはペルシアンスタイルばかり。ゴムなしを着こなす自信のない筆者はゴムと袖（美容院のケープについている袖のような感じ）が付いた黒いアラビアンスタイルを入手したのでした。



雪のハラム。この日は移動日で、空港に向かう前にのんきに風景を撮っていましたが、荒天のため搭乗予定だった 20 時発の飛行機の出発が遅れ、深夜 2 時頃になってから、朝 6 時発に延期されたアナウンスされ、結局空港で夜を越すことに……



広大なハラムの敷地をぐるっと囲んでいる外壁。1 辺約 600 メートル。外壁を見ているだけでも眼福。

まで自席に置いておける閲覧室です。研究者室の利用者は、図書館へのリクエストで必要な本を購入し、蔵書に加えてもらうことができます。研究者を優遇することで、図書館との強い結びつきを作っており、主題別の特別室には大学教授がコンサルタントとして無料で来てくれ、利用者や職員に専門的な見地から相談に乗ってくれるとのことでした。

この図書館で最も印象的だったことは、資金の潤沢さです。レザー廟は、現在も、毎年数千万の巡礼者が訪れ、財団に多額の寄進も行われます。そしてイスラム世界においては、宗教団体＝知識人集団。宗教団体が文化活動に予算を割くことがごく当たり前なので、同図書館の予算も豊富です。例えば、日常的な選書でも、テヘランで毎年行われる国際ブックフェアでも、必要な資料を全て購入しているとか。建物も随所に八角形が使われるなどデザインや材質にこだわりのあるのが見え、設備面も大変凝っています。世界的に見ても珍しい、予算を気にせずやりたいことができる図書館という点で、大変興味深かったです。

大アーヤトツラー・マルアシー・ナジャファイー大図書館

ゴムはテヘランから南へ約 120 km 行った所にあります。日本ではちょっとお目にかかれないう、荒野の道が旅情を誘います。前述の 8 代目イマーム、イマーム・レザーの妹ファアティマの墓があるシーア派の聖地の一つであり、ホメイニ師がイスラム法学を修め、教鞭をとった町でもありません。イランの宗教学の中心地として、多くの宗教学者や神学生が集まっており、建物に大きなイスラム法学者の絵があったり、ほとんど英語が通じなかったりと、テヘランなどほかの町とは違った宗教的な雰囲気町の町でした。

大アーヤトツラー・マルアシー・ナジャファイー大図書館は、法律家のアーヤトツラー・マルアシー・ナジャファイー氏が設立した図書館です。同氏が衣食を削って集めた写本はイランでは最高峰のコレクション、中東でもエジプト、トルコに続く三番目の質及び量を有するコレクションとされ、世界各地から神学生や研究者が利用するために訪れています。



大通りに面したモスクのドーム。ゴムの女性はしっかりと黒いチャードルを着ており、宗教都市であることが感じられる。



街角には聖職者の肖像画が飾られていた。



ゴムへの道は荒野を走っている。

ゴム

大アーヤトラー・マルアシー・ナジャフィー大図書館



写本ラボ。受入前の状態確認をする部屋、各種の補修を行う部屋、虫害を研究する部屋など、様々な部屋が存在する。



入口。

広い展示室。ガラスケースの中には4代目イマーム、アリー・ザイヌルアービディーンや8代目イマーム、レザーの直筆、様々なコーランなどのイスラム関係の写本から、中国の木簡本、ビルマの貝葉など、世界各地の写本まで様々な写本が展示されている。

閲覧室は、学生閲覧室・一般閲覧室と、研究者用の男女別の閲覧室があり、学生閲覧室と一般閲覧室は金曜と土曜が女性のみ、それ以外の曜日が男性のみ利用できません。研究者以外の利用者は、自分の性別の閲覧日でないと入館できないため、曜日を誤ると、筆者のように門前払いを受けることになります。筆者は半泣きになりましたが、タクシードライバーさんのアシストで、事前にアポイントをとった担当者が一時間後に出勤することが判明、何とか約束どおり見学させていただくことができました。因みに、図書館見学ツアーは閲覧日に関わらず行われており、筆者の訪問時にも男女ともいくつかの団体の見学ツアーで賑わっていました。

男性閲覧日だったため、一般利用者スペースは見られませんでした。したが、上階の広い展示室に展示された貴重な写本と写本の保存を行う施設を見ることができました。写本研究の一大拠点である同館は、写本の保存、修復も行っており、補修職員4人（1人は細密画を担当）が働いています。また、写本研究を行う図書館でも珍しい写本の虫害研究のためのラボがあり、各種の害虫のサンプルといった珍しい物も見ることができました。

See Also ...

緒方佑衣「イランにおけるデジタルライブラリー等の現況」『アジア情報室通報』15(3), 2017.9, pp.2-7
<http://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/asia-pub.php>

◆8月11日は#山の日。登山で見つけた石の種類は何？◆#リサーチ・ナビの調べ方案内「岩石・鉱物について調べる」をどうぞ。

これは、私たちが8月につぶやいたツイートです。リサーチ・ナビの「調べ方案内」をご存知ですか？これは、当館の職員がこれまでに積み上げてきた調べ方のコツを紹介するもので、1,300を超えるコンテンツをインターネットで公開しています。毎日納本される大量の資料の中から、新しい辞書・事典や図鑑など、調べものに役立つ資料を探し、日々メンテナンスも行っていきます。

私たち科学技術・経済課では、この「調べ方案内」をたくさんの人に知ってもらうために、〇〇記念日や〇〇月間などのタイミングで、コンテンツを紹介するツイートをしています。冒頭の文章は、山好きの職員が山の日にかけて「調べ方案内」を宣伝したい！と考えたものです。

しかし、「山を調べる」というような、ズバリ当てはまる「調べ方案内」はありません。山…山は登るもの…山に登れば岩石や鉱物がある…「岩石・鉱物について調べる」ならある!!!という発想で、

今回紹介するコンテンツが決まりました。まるで連想ゲームですね。

紹介する「調べ方案内」と文章が決まったら、ツイートをより目立たせるための画像を探します。画像は「国立国会図書館デジタルコレクション」でインターネット公開されているものを活用しています。最初の案は、巨大な岩を人が見上げている写真でした。でも、モノクロ写真は地味でインパクトに欠けるのでは？と意見があり、最終的にはカラフルな誕生石の画像を使うことになりました。指輪のカタログみたいですが、80年前の子どもむけの鉱石の辞典なんですよ。

こんな試行錯誤の末に生み出されているものなので、リツイート数やいいねの数をみて一喜一憂しています。きれいな画像のおかげか、山の日ツイートは良い反応をいただくことができました。これからの魅力的なコンテンツを頑張っで紹介していきますので、どんどん拡散していただけたらうれしいです。みなさんのフォローをお待ちしています。

(科学技術・経済課経済社会係 #拡散希望)



このツイート、きみまでとどけ

What's
書誌調整

第 10 回

メタデータって何だろう？

こんにちワーン! カーネ (CANE) です。
国立国会図書館 (NDL) のホームページを見ながら勉強していたら、「メタデータ」という言葉が出てきたよ。メタデータって時々聞く言葉だけど、どんなデータなのかな？
先生に、教えてもらおう!



カーネ

先生.. やあ、カーネ。自分で勉強しているとは、感心、感心。では、今日は「メタデータ」について勉強しますか？

カーネ.. よろしくお願ひしますワーン!

先生.. 「メタデータ」は、簡単にいうと「データに関するデータ」です。たとえば、デジカメで撮った画像、パソコンで「プロパティ」を見ると、撮影日がわかりますよね。設定しておけば、撮影した場所とか、カメラの種類とかもデータとして残しておけます。

カーネ.. へ、そういうのが「メタデータ」なんだ。そういえば昔のカメらは写真に日付を焼きつけたりしていたよね。

先生.. えっ、カーネは一体何歳なんですか？

カーネ.. ひみつー。

先生.. それはともかく (コホン)。そんなふうにしてデータに関するデータの有用性が理解されやすくなってきたのは、1990年代半ば頃、インターネット上でやり取りされるデータが増えて、必要な情報を見つるのが難しくなってきたんです。このウェブサイトはこういうものですよ、この音楽データの演奏者は誰々ですよ、という情報がないと困りますよね。レコードやCDだったらジャケットに印刷できますが、データだとそれができないじゃないっしょ。

カーネ.. なるほど! あれ? それって、本や雑誌についての「書誌」と同じじゃないっしょ?

先生.. いいところに気がきましたね。実は、これまでカーネが勉強してきた書誌データや典拠のデータも、メタデータの一種なんですよ。

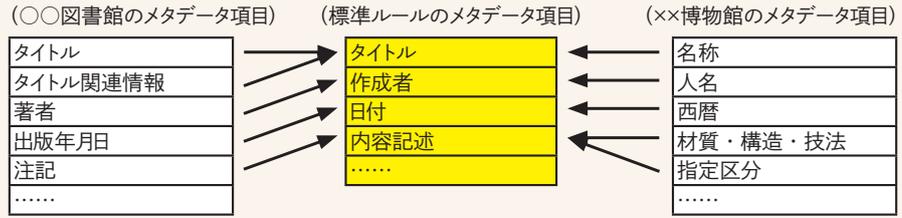
カーネ.. へえ、そうなんだ!

先生.. ところで、書誌データを作るときは目録規則については以前お話ししましたね。NDLも含め、日本の図書館界では「日本目録規則」という標準的なルールが使われています。メタデータについては、例えば、「ダブリング」^①という世界的な標準が存在するんですよ。

カーネ.. インターネットの世界だから、世界共通なんだね!

先生.. NDLでは、この「ダブリング」を土台に、日本語への対応やNDLの各種情報システムへの対応に必要な項目を追加した「国立国会図書館ダブリングメタデータ記述 (DC-INDL)」^②という標準的なルールを定めています。NDLが「国立国会図書館インターネット資料収集保存事業 (WARPP)」で収集したインターネット資料や「国立国会図書館デジタルコレクション」に収録したデジタル化資料にもDC-INDLの定めたルールに基づいてメタデータがつけられているんですよ。

メタデータ連携における
メタデータ項目の対応付け
(マッピング) イメージ図



国立国会図書館サーチ
<http://iss.ndl.go.jp/>



カーネ：いろいろなデータに使えるルールなんだね。そのルールは、どんなことを決めているの？

先生：たとえば、「タイトル」にはこいつの情報を書きましょつが、この項目を記録するときには、この標準的なリストから用語を選びましょつといった基本的な約束事を決めています。

カーネ：ふーん。そんなふういろいろなデータに使える標準的なルールを決めておくと、何かいいことがあるの？

先生：よい質問ですね、カーネ。たとえば「メタデータ連携」という言葉は聞いたことがありませんか？

カーネ：うーん、聞いたことあるような、ないような…。

先生：NDLサーチでは、NDL以外の機関が持っている本も検索できますね。

カーネ：うん、ぼくやったことあるー！

先生：「メタデータ連携」とは、保有機関や作成機関が違つ様々なメタデータを組み合わせて使うことです。メタデータを組み合わせる際に、例えば、本の「書名」も、絵の「作品名」も、同じ「タイトル」として扱うことができれば、一つのキーワードを入れるだけで、キーワードがタイトルに含まれる本や絵をまとめて検索するといつていいかな？(上図参照)。

このように、それぞれの機関が作成したメタデータの、類似した項目や同一の項目を対応付けるためのガイドラインとなるのが、DC・NDLのような標準的なルールです。もちろん、あらかじめ標準的なルールにしたがってメタデータを作成しておけば、対応付け作業を行わずにメタデータ連携が可能になります。

カーネ：共通の約束事が大事なんだね。じゃあ何か検索してみようかなー。

先生：NDLサーチには、「文化遺産オンライン」などを通して、文化財の指定を受けた建造物や名勝のメタデータも収録されていますよ。試みに検索してみてもいいかな。

カーネ：あ！出てきました、文化遺産オンラインの博物資料も「国立国会図書館デジタルコレクション」で読める本や錦絵といつぱんに検索できるんだ！メタデータ連携、つてすごいワン。先生、ありがとうございます！

(電子情報部電子情報流通課 標準化推進係)

1 国立国会図書館月報 652/653号 (2015年8/9月号) p.24-26
2 DC-NDLでは、メタデータを作成するための標準的な項目(記述語彙)やその項目をどのような形式で記述するかといったルール(記述規則)を定めています。詳細は、下記URLをご覧ください。http://www.ndl.go.jp/aboutus/standards/meta/about_dcdnd.html

NDL Topics

システムリニューアルに関するお知らせ(3)

NDL・OPACのサービス終了

国立国会図書館蔵書検索・申込システム(NDL・OPAC)は、次の日時にサービスを終了します。

・平成29年12月27日(水) 19時

国立国会図書館オンラインのサービス開始

国立国会図書館検索・申込オンラインサービス(国立国会図書館オンライン)は、次の日時にサービスを開始します。

・平成30年1月5日(金) 9時

※NDL・OPACの終了から国立国会図書館オンラインのサービス開始までの期間、資料の検索については国立国会図書館サーチをご利用ください。

NDL・Bibのサービス開始

国立国会図書館書誌提供サービス(NDL・Bib)は、次の日時にサービスを開始します。

・平成30年1月5日(金) 9時

新しいサービスの詳細や、システムの切替えに伴う各種サービスの一時的な休止、リニューアルに際して事前にご留意いただきたいことを始め、最新情報を当館ホームページの「平成30年1月システムリニューアルのお知らせ」に掲載していますので、ご覧ください。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

平成29年度東日本大震災アーカイブシンポジウム「被災県が実施する震災アーカイブの意義」

国立国会図書館は、東北大学災害科学国際研究所との共催により、平成30年1月に東北大学災害科学国際研究所多目的ホールにて、東日本大震災アーカイブシンポジウムを開催します。震災アーカイブを取り巻く国際動向として、平成29年11月に行われた「世界防災フォーラム」の概要を報告するほか、東日本大震災及び熊本地震の被災県の震災アーカイブ担当者による各県の事例報告や課題解決に向けた議論を行います。

○日時 平成30年1月11日(木) 13時～16時30分

○会場 東北大学災害科学国際研究所多目的ホール(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)

仙台市宮地下鉄青葉山駅下車 南出口徒歩5分

○プログラム

【震災アーカイブを取り巻く国際動向】 世界防災フォーラム&ぼうさいこくたいの報告

【被災県が取り組む震災アーカイブの復興にむけて目指すもの】 「いわて震災津波アーカイブの希望」について／熊本地震への対応とデジタルアーカイブ／茨城県における東日本大震災の記録資料の収集と公開／福島県における震災関連資料の収集について

【進化する震災アーカイブの現状と課題】 在仙テレビ局の震災アーカイブ、その意義と活用方法／国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)の課題と取組／震災アーカイブを発展させるため

に研究機関がすべきこと

【パネルディスカッション】被災県が実施する震災アーカイブの意義

○申込方法 「みちのく震録伝」(<http://shinokuden.ridestohoku.ac.jp>)掲載のシンポジウム案内からリンクしている「参加申込みフォーム」にてお申し込みください。定員(200名)に達した時点で受付を終了します。

○問合せ先

東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野
電話 022-752-2099

電子メール archiveforum@ridestohoku.ac.jp

※シンポジウムの詳細については、「みちのく震録伝」ホームページをご覧ください。

平成29年度書誌調整連絡会議

「新しい目録規則は何をもたらすか」：フランスと日本の書誌「データ」

国内外の書誌調整に関する最新情報を広く関係者・関係機関等と共有することを目的に、平成29年度書誌調整連絡会議を開催します。フランス国立図書館のヴァンサン・ブレ氏をお迎えし、新しい目録規則の策定・導入における先進的な取組みについてご講演いただきます。また、国内の事例報告も行います。英日逐次通訳付き、入場無料(事前要申込)です。ぜひご参

加ください。

- 日時 平成30年1月18日(木) 14時〜17時
- 会場 国立国会図書館 東京本館 新館大会議室
- プログラム

「フランスにおける書誌移行計画…その成果について」 ヴァンサン・ブレ氏(フランス国立図書館メタデータ部リポジトリサービス部門長)

『日本目録規則2018年版』(仮称)の概要と意義」 渡邊隆弘氏(日本図書館協会目録委員会委員長、帝塚山学院大学人間科学部教授)

「国立国会図書館における『日本目録規則2018年版』(仮称)の適用に向けて」 国立国会図書館 収集書誌部収集・書誌調整課職員

- 申込方法 電子メールでお申し込みください。件名欄に「書誌調整連絡会議参加申込」と記載し、本文に次の事項を記載してください。①氏名(ふりがな) ②ご所属③ご連絡先

※申込受付後3営業日以内にお送りする確認メールが届かない場合は、左記までご連絡ください。

※定員に達し次第、受付を終了します。

- 申込期限 平成30年1月9日(火) 17時
 - 申込み・問合せ先
- 国立国会図書館 収集書誌部 収集・書誌調整課 書誌調整係
- 電子メール syosil@ndl.go.jp
- 電話 03(3506)3362

国際子ども図書館 中高生向け講演会

「教科書において図書館へ！」

授業の外側にある数学のはなし」

国際子ども図書館では、平成28年2月に調べものの部屋を開室し、中高生向けの読書活動推進に取り組んでいます。このたび、調べものの部屋の蔵書から「数学」をテーマに取り上げ、数学を学ぶ意味や面白さなどについて桜美林大学の芳沢光雄教授にお話しいただきます。

当館職員によるブックトークも行います。

内容の詳細および申込方法については、国際子ども図書館ホームページの「展示会・イベント」イベント情報「これからのイベント」をご確認ください。

- 日時 平成30年1月21日(日) 13時30分〜15時30分
 - 会場 国際子ども図書館 アーチ棟1階研修室1
 - 対象 中学生以上
 - 講師 芳沢光雄氏(桜美林大学教授)
 - 定員 50名(事前申込制・先着順)
 - 参加費 無料
 - 問合せ先
- 国立国会図書館 国際子ども図書館 児童サービス課
- 電話 03(3827)2053(代表)

新刊案内

平成28年度国際政策セミナー報告書

「家族のダイバーシティ」ヨーロッパの経験から考える」

基本権に基づく圧力にさらされる伝統的法制度

— 婚姻を例に考える —

性的少数者と憲法の発展

家族の多様性と民法

日本家族法の特徴と婚姻の行方



A4 94頁 不定期刊
ISBN 978-4-87582-805-1
以下のURLからPDFファイルをご覧いただけます。
<http://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/>

レファレンス 801号

我が国における少年司法制度の現状と少年法適用年齢の引下げに関する課題

働き方改革と日本経済

— 労働参加率と労働生産性の向上 —

独占禁止法に係る課徴金制度の見直し



A4 80頁 月刊 1,000円(税別)
発売 日本図書館協会
〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14
電話 03(3523)0812

凡例		
憲政資料室の新規公開資料から	11	4-11
記事タイトル	掲載号(月)	掲載ページ数

本の森を歩く

(第15回) 永遠のヒーロー-真田幸村	(林 瞬介)	1	6-9
(第16回) 100年前のベトナムへ	(福林 靖博)	4	20-24

世界図書館紀行

ワシントン大学図書館	(東川 梓)	1	17-24
韓国・国立世宗図書館	(白井 京)	3	24-29
ベトナム	(兼松 芳之・竹内 若生)	4	14-19
北米・欧州図書館巡行記 北米編	(吉家 あかね)	5	12-17
北米・欧州図書館巡行記 欧州編	(吉家 あかね)	6	19-26
デンマーク王立図書館	(安松 沙保)	7/8	24-29
Seven Stories : The National Centre for Children's Books	(清水 茉莉子)	11	25-30
イラン (イラン・イスラム共和国)	(緒方 佑衣)	12	14-22

資料の世界の歩き方
中世の古文書を読んでみよう

(1) 差出人が「いばった」文書?	(木下 竜馬)	5	4-6
(2) 鎌倉将軍は「君臨すれども統治せず」?	(木下 竜馬)	6	10-12
(3) 文書の中の文書?	(木下 竜馬)	7/8	20-22
(4) 真っ黒な紙は「天皇文書」のトレードマーク!?	(木下 竜馬)	9/10	24-27
(5) 「目の調子が悪くて……」ハンコ文化の誕生?	(木下 竜馬)	11	12-14

What's 書誌調整 ふたたび

(第8回) くるくる変わる、逐次刊行物	(江本 真友子)	2	24-26
(第9回) NDC10版がやってきた!	(木下 竜馬)	6	16-17
(第10回) メタデータって何だろう?		12	24-25

本屋にない本

本を彩る版画 蔵書票を愛した男: 蒐集家原野賢吉の軌跡	(大久保 玲)	1	16
美味な干し柿生産とその事例: 美味技術学会選書 No.10	(小川 那瑠)	2	22
陸にあがった海軍: 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争	(富田 穰治)	3	30
シーボルトが紹介したかった日本: 欧米における日本関連コレクションを使った 日本研究・日本展示を進めるために	(奥田 倫子)	4	25
海を渡った日本茶の広告: 明治・大正・昭和の海外向け小冊子	(村松 克洋)	5	18
ワイン展 Wine THE EXHIBITION: ぶどうから生まれた奇跡	(西川 久司)	6	27
ハワイ報知百年史	(田幡 琢磨)	7/8	23
なぜなぜ? ことばあそび!! 江戸の判じ絵と練馬の地口絵	(山下 真由子)	9/10	30
地域女性史シリーズ ①~⑯	(高橋 奈緒美)	11	31
Yanagimoto Koichi -archivist's vision	(福林 靖博)	12	13

館内スコープ

「カレントアウェアネス-R」執筆の舞台裏		1	25
文書レファレンスの通り道		2	23
ある日の雛ちゃん菊ちゃんの会話		3	13
濃密な二週間		4	13
「縦書きがいいね」と君が言ったから		5	23
めくり続けて真っ黒になるまで		6	18
書き込み、破損、歓迎します。		7/8	19
「下!」「右、と左?」「上、かなあ…。」		9/10	23
国際子ども図書館のさまざまな顔		11	24
このツイート、きみまでとどけ		12	23

国立国会図書館月報

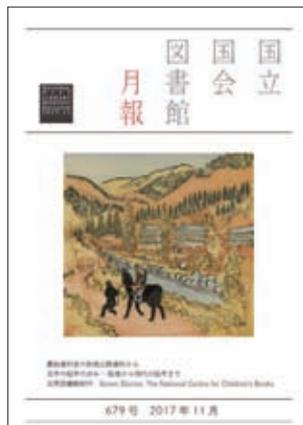
年間索引

一般記事

新たな中期ビジョン「ユニバーサル・アクセス2020」	(羽入 佐和子)	1	2-3
西洋古典籍の保存： 一橋大学社会科学古典資料センター主催「西洋古典資料保存実務研修」に参加して		1	10-15
数字で見る国立国会図書館：『国立国会図書館年報 平成27年度』から		1	26-29
企画展示「続・あの人の直筆」報告 あの人に会えた！ 続 あの人の直筆：誌上フロアレクチャー	(季武 嘉也)	2	4-13
関西館で柿渋のイベント!?: 柿渋の魅力と課題、そして情報基盤を考える		2	18-21
国際政策セミナー講演会 家族のダイバーシティ： ヨーロッパの経験から考える		2	14-15
DOI入門講座：永続的なアクセスを保証するために		2	16-17
被災図書館の支援：常総市立図書館 熊本県立図書館 ネパール国立図書館		3	4-10
東日本大震災アーカイブ(ひなぎく) 震災記録の収集を続けています		3	11-12
保存修復とデジタル化の両輪でめざす、これからの資料保存： 「第27回保存フォーラム デジタル時代の資料保存」より		3	14-18
デジカフェ(NDLデジタルライブラリーカフェ)はじめました		3	19-21
明日の文化遺産は今日のデジタル情報の上に成り立つ： オープンサイエンスと図書館、ヨーロッパの事例		3	22-23
新たな国立国会図書館中期ビジョン ユニバーサル・アクセス2020		4	4-7
ベトナム国会図書館を支援しています		4	8-11
調査及び立法考査局のさまざまな国際協力		4	12
国立国会図書館にない本 内務省納本雑誌との出会い	(小林 昌樹)	5	7-11
海外日本研究司書研修 特別講義より 日本におけるマンガ研究		5	19-22
古地図で歩く江戸時代の永田町	(林 瞬介)	6	4-9
NDCの誕生	(高橋 良平)	6	13-15
第52回貴重書等指定委員会報告 新たな貴重書のご紹介		7/8	4-9
アルド・マヌーツィオと彼の後継者たち	(雪嶋 宏一)	7/8	10-18
特集 関西館15周年		9/10	4-22
座談会 けいはんな学研都市と関西館の 過去・現在・未来		9/10	6-13
関西館AtoZ		9/10	14-22
憲政資料室の新規公開資料から		11	4-11
日本の絵本の歩み：絵巻から現代の絵本まで		11	15-23
米国に残された戦前の検閲の痕跡——LC所蔵 内務省検閲発禁図書		12	4-5
本に残された決裁文書——注文の多い間借人——	(真子 ゆかり)	12	6-12

今月の一冊

裏紙が伝えた中世：新紹介の八条院関係紙背文書写	(木下 竜馬)	1	4-5
決闘は文明の花である：光妙寺三郎の『決闘条規』	(大森 健吾)	2	2-3
アトランティス：大陸より来たる	(吉原 努)	3	2-3
美観画報：国木田独歩が創刊した芸者雑誌	(古野 朋子)	4	2-3
<i>Poemes de la Libellule</i> ：蜻蛉集 巴里へ飛んだトンボ	(大森 健吾)	5	1-3
霧の画家：牧野義雄が愛したロンドン	(遠藤 暁子)	6	1-3
滑稽道外案文：雷様に暑中見舞を書くには	(川本 勉)	7/8	1-3
資料継承の一つのかたち：勝海舟関係文書のなかの誠齋雑記	(河村 真澄)	9/10	1-3
快傑レーニン：のちの首相が目撃したロシア革命	(林 瞬介)	11	1-3
Farewell, Old Fellow! : ビゴーとワーグマン	(村尾 優子)	12	1-3



バックナンバーは
PDFでもよめます



<http://www.ndl.go.jp/jp/publication/geppo/>

冊子版のご購入については、公益社団法人日本図書館協会へお問い合わせください。バックナンバーも取り扱っています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 電話 03(3523)0812(販売)

12

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2017.12

NO.680
DECEMBER
2017

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Farewell, Old Fellow! — Bigot and Wirgman
- 04 Evidence of censorship during the prewar period
discovered in the U.S.
- 06 Comments from censors found in books
- 14 Travel writing on world libraries:
Islamic Republic of Iran
- 24 What's bibliographic control? Revisited (10):
What is Metadata?
- 13 <Books not commercially available>
Yanagimoto Koichi -archivist's vision
- 23 <Tidbits of information on NDL>
Hoping this tweet finds you wherever you are
- 26 <NDL Topics>
- 28 Annual index to National Diet Library Monthly Bulletin, nos. 669-680

国立国会図書館月報

平成29年12月号 (No.680)

平成29年12月1日発行

発行所 国立国会図書館
編集者 秋山勉
責任者

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<http://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) >刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
L I B R A R Y
M O N T H L Y
B U L L E T I N
2 0 1 7 . 1 2

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

六